

銀スポット編

見たい! 知りたい! 永代有名どころ

大「横」川にかかる

大島川水門

門前仲町駅から 徒歩約9分
永代1丁目7-15



1

水門には、流水を制御すると共に、高水時には堤防としての機能を発揮します。高潮等で外水域の水位が高くなった場合、水門を閉鎖し内水域の水位上昇を防ぐ役割があります。一級河川である隅田川が近くにある永代だからこそ見ることが出来る景色。高さ約8mもある堅硬なフォルムは圧巻です。

「日本百名橋」のひとつ

永代橋

門前仲町駅から 徒歩約6分
永代1丁目~中央区新川1丁目



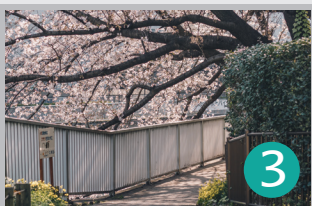
2

幅約185mの隅田川を跨ぎ、江東区と中央区を結ぶ橋。このアーチ型自体は他の場所でも見かける機会がありますが、特徴的なのは淡い水色のカラーリング。水面と空・ビル群の間でも洗練された存在感を発揮しています。橋の中央からは佃のマンション群が一望でき、ドラマの撮影等でもよく使われる有名スポット。

桜のアーチ

桜並木 (大島川児童遊園)

門前仲町駅から 徒歩約6分
永代2丁目19-1



3

住宅街の中にひっそりと佇む区立の児童遊園。どの季節でもそれぞれ良い表情を見せてくれるのですが、春の桜が咲く時期は特にお勧め。川沿いの遊歩道へ覆い被さる様に広がる桜の樹が、淡いピンクの花道となります。はらはらと散る花弁の中を歩いていると、まるで幻想的な世界に迷い込んだかの様な気分に。

皆の憩いの場

永代公園

門前仲町駅から 徒歩約9分
永代1丁目1



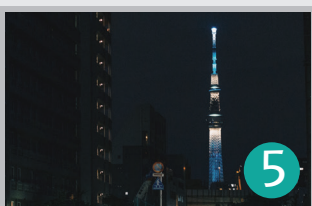
4

北は永代橋、南は大島川水門。その二つを結ぶ様に、隅田川沿いに広がる区立公園。夜は川向こうに輝くビル群の夜景が美しく輝き、夜景が綺麗なデートスポットとしても有名です。こちらの公演も川沿いが遊歩道になっており、落ち着いた雰囲気です。ゆったりと散歩することができます。

城東ならではの

街中スカイツリー

門前仲町駅から 徒歩約5分
永代2丁目11-2 三甲東京本社ビル付近



5

福島橋から川の上流に目を向けると、日本最高の電波塔「スカイツリー」を見つけることができます。街の中から「永代の日常」を入れて撮ることができる、有数の写真スポット。夜間のライトアップ時は、日によって4種に光輝くタワーの全身を一望でき、一際美しい景色に。

他とはちょっと違う

江東永代郵便局

門前仲町駅から 徒歩約9分
永代1丁目14-9



6

郵便局とはかくあるべし、といったちょっとレトロな街角の郵便局。その郵便局らしさは、疑う余地もありません。かつて、江東永代郵便局で押印されていた風景印は、米俵を持つ男性(江戸時代から続く伝統行事「深川の力持ち」の様子)が描かれてました。当時の永代には力持ちが多かったのかも(?)

教科書にも載る有名人

渋沢栄一宅跡

門前仲町駅から 徒歩約5分
永代2丁目37



7

2021年NHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公や、2024年に新一万円札の肖像画に起用される等、大きな話題を呼んでいる渋沢栄一。実は36歳(明治9年)時にはここに彼の本邸が構えられていたのです。江東区の登録史跡と指定されており、歴史的に見ても価値の高いものとなっています。

実はあの人も入門

佐久間象山砲塾跡

門前仲町駅から 徒歩約6分
永代1丁目15-2



8

佐久間象山は、江戸時代後期の松代藩(現在の長野県)の藩士であり、兵学者・朱子学者・思想家でもある人物。象山神社の祭神としても祀られている彼が、この永代で「西洋砲術塾」を開いた屋敷の跡がこの場所に残っています。諸藩の藩士に砲術を教え、この頃はあの勝海舟も入門していたとか。